

令和 2 年 10 月 20 日

けやき苑認知症対応型通所介護
運営推進会議 委員各位

令和 2 年度上半期 けやき苑認知症対応型通所介護
運営推進会議の開催について(書面開催)

当運営推進会議については、新型コロナウイルス感染症への対応として、書面開催するよう三鷹市より通知がありました。つきましては下記のとおりサービス提供状況等について報告致します。
お忙しいところ恐縮ですが、けやき苑認知症対応型通所介護(以下、けやきの会)へのご要望やご助言等をご記入いただき、ご返送下さいますようお願い申し上げます。

記

1. 実績および利用状況
※資料①
2. 苦情、事故等
※資料②
3. けやきの会活動報告
※資料③
4. けやき苑のコロナウイルス感染症対策
※資料④

(書面開催の方法)

- ・報告書をお読みいただき「返信用紙」にご記入下さい。
- ・ファックスまたは郵送にて、10 月 31 日(土)までにご提出をお願いします。

けやき苑認知症対応型通所介護事業 利用実績等(令和2年度上半期)

【実績及び利用状況】(令和2年4月～令和2年9月)

<実施日数>

4月	5月	6月	7月	8月	9月
25	23	26	25	25	24

*4/7緊急事態宣言が発令されましたが、認知症状の進行予防や生活リズムの乱れによる悪影響・ご家族の介護体制などを考慮し、通所介護事業は休館にはせず感染予防対策を徹底しながら営業を継続しました。

<登録人数>

4月	5月	6月	7月	8月	9月
20	20	20	20	20	19

*登録人数については、実施期間を通じて殆ど増減がありませんでした。

<新規受入数>

4月	5月	6月	7月	8月	9月
1	0	0	0	0	1

*新規利用者は4月と9月に1名ずつでした。どちらも登録変更ではなく純新規利用者です。
 *今年度は新型コロナウイルスの影響による緊急事態宣言発令もあり、例年に比べて新規相談や見学対応も減少し、新規利用者の獲得にはつながりにくい状況でした。今後も認知症対応型通所介護の内容や役割・支援効果について、居宅介護支援事業所のケアマネージャーや地域包括支援センターにも理解を促しながら連携していきたいと思います。

<終了者数>

4月	5月	6月	7月	8月	9月
0	0	0	0	2	0

*利用終了者については、長年利用されていた2名が8月に逝去されました。
 (1名は週1回、もう1名は週5回通所でした)

<利用者年齢> 平均85.1歳

65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90～94歳	95～99歳	100歳～
1	1	2	3	7	7	0	0

*80歳～94歳の方が多く平均年齢が高くなっています。
 *前回の運営推進会議(令和2年2月開催)にはいなかった年齢層(65歳～69歳、70歳～74歳)に該当する方が1名ずついます。一番若い65歳の方は若年性認知症を患い、他事業所(地域密着型通所介護)を利用していましたが、個別対応の難しさもありケアマネージャーからの紹介でけやき苑につながりました。74歳の方は9月からの新規利用。初めてのサービス利用に不安が強くご家族から離れられないことから、現在ご家族にも協力していただき通所に慣れていただくための支援を継続中です。

<通所回数> 平均2.6回

1回	2回	3回	4回	5回	6回
6	4	8	0	1	2

*登録者20名のうち半数が週1～2回の利用。入浴回数を増やすために事業所を併用されている方もいます。
 週3回の方は全体の半数近くを占めていますが、90歳前後で疲れやすい面もあり、1日おきの利用頻度が良い生活リズムになっているようです。また、認知症状や自宅での様子、介護状況などから毎日通所を希望される方もおり2名が利用中です。

<要介護度別の実利用者数>

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
要介護1	2	1	2	2	2	3
要介護2	6	6	6	5	5	5
要介護3	7	7	7	7	7	6
要介護4	3	2	3	3	3	3
要介護5	0	0	0	0	0	0
合計	18	16	18	17	17	17

*要介護5(2名)の方は、自宅療養・コロナウイルスによる外出自粛のため利用実績はありません。
 *前回の運営推進会議(令和2年2月開催)との資料と比較したところ、要介護3の利用実人数が増えています。
 身体機能の低下や認知症によるBPSDも増えており、個々の利用者状態の把握と臨機応変な対応がより一層必要となっている。

<延べ利用者数、一日の平均利用人数、利用率>

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
要介護1	17	10	26	24	23	20
要介護2	63	60	68	59	61	57
要介護3	84	81	88	82	88	67
要介護4	11	13	24	26	28	26
要介護5	0	0	0	0	0	0
1日平均人数 (定員12名)	7	7.1	7.9	7.6	8	7.1
利用率	58.3%	59.4%	66.0%	63.7%	66.7%	59.0%

*新型コロナウイルスによる緊急事態宣言発令後も、認知症対応型通所介護(けやきの会)では継続的に利用される方が殆どでした。マスク着用・手洗い・消毒対応・三密回避の工夫などを実施したり、けやき苑の感染予防対策をまとめてご家族にも配り安心感を得ていただきました。また、自粛中で欠席されている方にもご本人状態や介護状況などを随時確認しながら支援を継続しました。

<令和2年10月現在の曜日別登録人数> 1日定員12名

	月	火	水	木	金	土
要介護1	3	1	1	1	1	0
要介護2	2	3	2	3	1	4
要介護3	3	3	3	4	6	3
要介護4	0	2	2	2	0	1
要介護5	0	0	0	0	0	0
合計	8	9	8	10	8	9

※令和2年10月15日現在の登録人数は20名です(女性19名、男性1名)
 そのうち入浴サービス利用者は12名、定期的にショートステイ利用しているのは6名です。

けやき苑認知症対応型通所介護「事故・ヒヤリハット報告」 令和2年度上半期(令和2年4月～令和2年9月)

◆事故・ヒヤリハット

発生日時	氏名	場所	事故区分	発生状況	原因分析	再発防止策
08/22 (土) 11:15	88歳 男性 要介護2	けやきの部屋	【異食】 新聞紙を口に してしまった。	【製作活動にて】 新聞紙を小さく切って丸めて色紙で包んだ ものを本人に「ブドウに見えますか？」と言 って職員が手渡した。その数分後、「これは全 然味がしないな」と本人が発言したところで、 新聞紙が口腔内に入っているところを発見 した。	今まで異食をしたことがなく、職員もま さか新聞紙を本物のブドウだと思って 口に入れるとは思っていなかった。	①誰にでも誤飲、誤食は有り得ることだと常に念頭 におきながら活動に携わる。 ②利用者個々のADLの把握、アセスメント、経過観 察を日々おこなう。 ③物品などが利用者の手元に置いてあるときは、十 分に注意する。利用者が手にしているときも目を離 さないようにしておく。
05/08 (金) 14:30	93歳 女性 要介護4	けやきの部屋の トイレ	【ドアに指を挟 み出血した】	本人が「トイレに行きたい」と多少焦った様子 で席から立ち上がる。けやきの部屋にあるト イレに誘導。 職員は本人の前方におり、慌てて便座のふ たを開けようとしたところ、ドアがゆっくりと 閉まり、本人の「痛い」という声で慌ててドア を開けた。 ドアの金具に左手小指が引っ掛かっていた のか、裂傷あり出血もしていた。	本人の指がドアにかかっていると思 い、本人よりも前に出て便座のふたを 開けようとしてしまった。	①手引き歩行の場合は、トイレ内手すりにつかまる までは必ず目を離さない。 ②介助をしていても、利用者がドアのふちや壁につ かまろうとすることが多い。ドアがきちんと開いてお らず、自然に閉まってしまうこともあるため想定しな がら介助にあたる。 ③利用者が慌てていても、職員は出来る限り冷静 に落ち着いて対応する。

◆苦情

・なし

けやきの会 活動報告



今年度は新型コロナウイルスの影響もあり、上半期のけやき苑認知症対応型通所介護・運営推進会議は書面での報告とさせていただきますことになりました。

4月以降、日ごとに増していく感染者数の増加に伴い、けやき苑のご利用者様も感染予防を理由に、通所をお休みされる方が少しずつ増えていきました。5月の大型連休前後での緊急事態宣言を受けて、けやきの会のご利用者様の中にも、しばらく通所を欠席したいとの申し出がありました。ただ、一般型通所介護利用者に比べると、感染予防を理由にお休みされる方は少なく、ご家族様にとって、認知症対応型通所介護の存在の大きさを改めて実感しました。

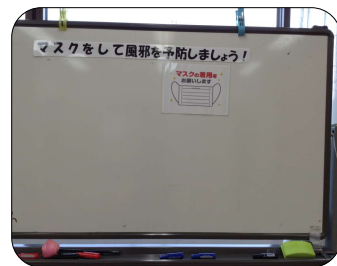
コロナ禍の中、感染予防対策を徹底しながら普段と変わらない活動を実施していくためにはどうしたら良いのか？けやきの会を担当している職員同士、日々意見交換をおこないながらご利用者様と過ごしています。

ここでは、上半期における、けやきの会の活動報告を写真を交えながらご紹介したいと思います！

マスク着用の徹底！

けやきの会でまず取り組んだことは、マスク持参のお願いと着用の徹底です。けやきの会では、少人数ではありますが、同じ部屋で1日を共に過ごしているため、対面での活動がどうしても多くなってしまいます。

はじめは、「暑かしい」「マスクなんてしたことない」とマスクをすぐに外してしまう方が多かったですが、皆さんの見える場所に注意喚起の貼り紙を掲示し、視覚からもわかりやすくなるようにしました。職員も常にマスクをしているので、「マスク、した方が良いんだよね？」と、だんだんとマスクの着用が定着していきました。



毎月のカレンダー、壁飾りの製作♪

けやきの会では、活動部屋に飾るカレンダーの製作をしています。毎月どんなデザインにしようか、その季節に合ったものや、皆さんから挙がったアイデアを基に、時間をかけながら取り組んでいます。

4月～来年の3月まで、毎月のカレンダーを写真にして、ご家族様へお見せしようと思っています。



調理活動を実施しました♪

各月、お誕生日の方がいらっしゃるときは、その方がリクエストされたものを皆さんでつくってお祝いしています。お饅頭や冷やし白玉ぜんざい、ワッフルなど、上半期もいろいろなおやつを手作りしました！

器具やテーブル・手指などの消毒は徹底して実施し、マスクと手袋も着用しています。

お誕生会の他にも、その季節に合ったものをつくることもあります。

10月は十五夜があるので、「お月見団子をつくって食べよう」という話もしています。



ご自宅では調理の機会がなかなかないと思いますが、長年培ってきた主婦の力が活動の場面で発揮されています。職員もご利用者の皆さんから教わることも多く、いつも勉強になっています！

体操もがんばっています！

この日は、リハビリ用のスティックを使って、上下肢の運動をしています。けやきの会では、午前中の活動に機能訓練指導員を一名配置しているので、それぞれのご利用者様の身体の具合に合わせながら、運動プログラムを実施することができます。

お一人ではなかなかできない体操なども、けやき苑でお仲間と一緒に取り組むことで、“やる気”が湧いたり、お互いに「がんばろう！」と声をかけあっていらっしゃる姿も時には見受けられるなど、けやき苑で一緒に取り組むことの大切さを日々実感しています。

※認知個別機能訓練の一環として実施対応。



さいごに・・・

いつ収束するかわからない状況のなかですが、下半期には、ご家族様もご招待して運営推進会議を無事に開催できることを願っています。

今後とも、けやき苑をよろしくお願い致します！

コロナ対策 実施中！

朝のお迎え時に



手指消毒



マスク着用



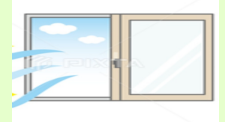
体温測定

※37.5℃以上ある場合はご遠慮いただきます
※マスクは必ず着用願います

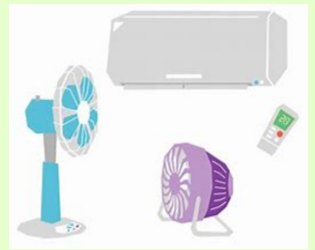
活動の部屋



距離をあけた座席



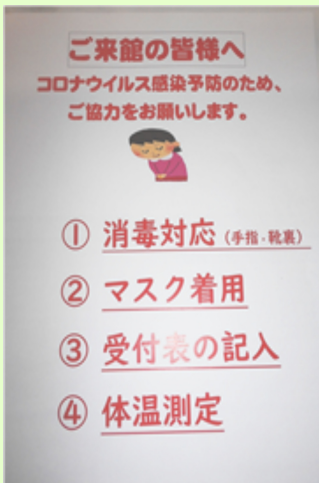
部屋の換気



温度や湿度の調節
(冷房・扇風機を併用)

玄関受付には

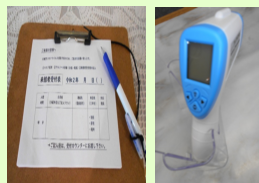
けやき苑を訪れたお客様には、マスク着用・消毒対応(手指・靴裏)と体温測定の他、来館者把握のため、受付表記入をお願いしています。



玄関入口の掲示ポスター



消毒スプレー



来館者受付表・検温



受付カウンターの
ビニールカーテン

食堂(昼食)

昼食時はマスクを外すので、隣席との距離をあけたり、透明パーテーションを使用します



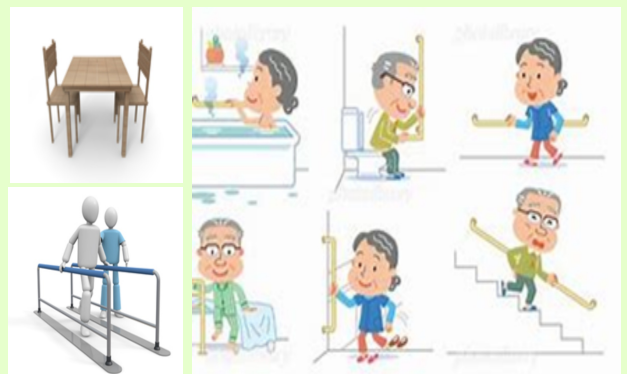
消毒



使用した物品や手の触れた箇所を消毒します



玄関～エレベーターまで抗菌マットを敷いています。
車椅子や歩行器の車輪にも消毒しやすいスペースを確保。



三鷹市高齢者センターけやき苑 宛（10/31㍻切）

（ファックス 0422-34-6538）

令和2年度上半期 けやき苑認知症対応型通所介護 運営推進会議（書面開催）

返信用紙

ご記入者名	民生委員
ご意見・ご要望・ ご助言等	資料拝見しました。緊急事態宣言中にも休むことなく、利用者さんやそのご家族のことなどを考えて、活動していらしたことが良かったと思います。 その間の利用者さん、スタッフさん方の感染予防対策等、いろいろ大変だったと思います。人間気をつけていてもヒヤリ、ハットすることはあると思います。それをスタッフ皆でカバーしていければと思います。 これからも“With コロナ”でご活躍下さい。

ご記入者名	地域包括支援センター
ご意見・ご要望・ ご助言等	運営推進会議のためにカラーの報告書を作成され、コロナ対策や利用者の様子が、見学させてもらったように良くわかりました。 報告書にもありましたが、利用者の減少はみられないことから、認知症などの介護を要する方こそ、サービス事業所の必要性は高く、介護従事者としての責任の重さを痛感されたと思います。（私自身も感染源にならぬよう、気を引き締めて日常生活を送りたいと改めて感じました。） また、ヒヤリハットの8/22の件は、思いがけない状況ですが、利用者のアセスメントやADLの把握は常にこころがける姿勢が大切だと思いました。 これからの下半期は、風邪やインフルエンザの蔓延にも注意が必要となり、より感染予防を徹底して行なうように一緒に努めていきたいと思っています。

ご記入者名	認知症介護に知見を有する者
ご意見・ご要望・ ご助言等	コロナ対策は日々職員の方の努力と気遣いで感染予防されていることと思います。毎日、都度の消毒等、本当に大変なことと思います。 利用率が60%台で経過していることは、コロナの今の時期では「密」にならない人数で支援できていると考えれば、前向きな気持ちにもなれます。介護度が2～3の方が多いため、活動の工夫をして認知機能にアプローチする新しい視点を持ってやっていることと思います。今までできていた行事等も今年は中止せざるを得ない状況ですが、何かアイデアがありましたら、当方も参考にさせていただきたいと思っています。今後ともよろしくお願いします。